

研究課題名	製造業における労働者の喫煙の実態と禁煙支援に関する研究
研究期間	実施許可日(倫理委員会承認後)～ 2026年 2月 28日
研究の対象	令和5年度に広島ガスに就業する全従業員のうち、たばこに関するアンケートの提出があった人を対象とします。
研究の目的・方法	<p>研究の目的：喫煙はがんをはじめ、脳卒中や虚血性心疾患などの循環器疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)などの呼吸器疾患、2型糖尿病、歯周病など、多くの病気と関係しており、予防できる最大の死亡原因です。また、本人の健康を損なうだけでなく、家族や同僚など周りの人の健康にも悪影響を及ぼす場合があります。社員が健康で安心して働ける環境を整備することは、一人ひとりの生活の質の向上や会社組織の活性化・生産性の向上に繋がることが期待されます。</p> <p>本研究の目的は、喫煙実態と禁煙の認識を把握し、社員の健康を保持増進するための企業対策および有効性評価の基礎資料を作成することであり、アンケート調査結果を二次的に利用して行われます。</p> <p>研究の方法：本研究は、広島ガスに就業する従業員に実施されたオンラインおよび質問紙調査データを分析することで行います。調査結果は、保健師により回収、整理され、個人とは無関係な番号が付けられたエクセルデータとしてデータベースが作成され、委託研究として大学に移管されます。個人情報that特定できる情報は含まれません。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：アンケート結果（基本属性と喫煙状況、健康管理に関する従業員の知識(ヘルスリテラシー尺度)、主観的健康観、禁煙の行動変容ステージ、喫煙意思決定バランス尺度、禁煙自己効力感尺度)
外部への試料・情報の提供	ありません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（倫理委員会承認後）
個人情報の保護	本研究では、無記名で実施されたアンケートデータのみを取り扱うため個人を特定できる情報は含みません。そのため、研究への参加を取りやめることはできません。研究の成果を学会あるいは誌上に公表する際にも、個人を特定できる形では公表しません。調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。

研究組織	<p>本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科 地域・学校看護開発学 教授 川崎 裕美</p> <p>既存試料・情報の提供機関 広島ガス株式会社 山下 理子</p>
その他	—
お問合せ先	<p>研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学医系科学研究科 地域・学校看護開発学 教授 川崎 裕美 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5395</p>